

特集

輝く女性経営者たち

105名に聞きました

「女性の活躍」が政府の重要政策に掲げられ、女性の経営者数もこの五年間で一・六倍に増えた（東京商工リサーチ調べ）。男の職場とされてきた業態でも女性が活躍し、倒産寸前だった企業を背負いV字回復した事例など、その活躍を目にする機会も増えている。「女性社長の経営スタイルには、剛腕型の男性リーダーとは違い、今の時代にあった組織マネージメントがあるからではないか」。そのような仮説から、本誌では、第一線で活躍する女性経営者一〇五名にアンケートを実施した。女性経営者の強みや悩み、目標とする経営者などの回答から、しなやかに粘り強く戦う力強い経営者像が浮かび上がってきた。

調査方法

現役の女性経営者を全都道府県から無作為に抽出し、郵送により実施。計105名から回答を得た。期間は2017年3月23日～4月30日

女性経営者としての強みは？



「柔軟・しなやか」というキーワードを挙げる人が31名で断トツだった。理由は、「人や状況をありのまま受けとめる」「プライドにとらわれず変化できる」「背伸びしない」などが多かった。2位は「こまやか・丁寧」（10名）で、細部に目を行き届かせるといった手堅さを感じさせる。3位は「母性」「覚えられやすい」で、共に9名。6位の「女性であること自体」という回答は、特に建設業など男性中心の業界に多く、デメリットよりもメリットを見る姿勢がうかがえる。このほか、「マルチタスク」「協調」といった面も、強みだと感じている女性が多いようだ。